

北見工業大学 台湾語学研修報告書

〈目次〉

【学生】

朝倉 裕二 (ASAKURA YUJI)	1
植村 優大 (UEMURA YUDAI)	2
奥田 駿 (OKUDA HAYATO)	3
小竹 祐輝 (KOTAKE YUKI)	5
柳原 周斗 (YANAGIHARA SHUTO)	6
加藤 万誉 (KATO MAYO)	7
間宮 大介 (MAMIYA DAISUKE)	8
角地 優子 (KAKUCHI YUKO)	9

【引率教員】

鈴木 衛 (SUZUKI MAMORU)	11
--------------------------------	----

【付録】

1 研修募集資料	13
2 研修日程表	15
3 実際の諸経費	19
4 研修の様子 (写真)	20

研修大学：台湾 中国医薬大学北港キャンパス（雲林県）
期 間：2013年2月22日（金）～3月22日（金）

台湾研修を終えて

機械・社会環境系 1年 朝倉 裕二

はじめに今回私たちの台湾研修への援助本当にありがとうございました。おかげで私はとても有意義な春休みを過ごせたと思います。

今回の台湾研修では午前中は中国語の勉強、午後は中国の文化について学びました。針治療や水墨画など名前は聞いたことあるが、実際に見るのはどれも初めてでとても面白かったです。また週末には台湾の有名な観光スポットに連れて行ってもらったりもしました。また中国医薬大学の学生の方がチューターとして私たちについてくれたのでわからないことなどがあつた時にすぐ聞くことができました。そのほかにもチューターの家にもホームステイさせてもらったり台湾の方々はとても優しくしてくれました。また、台湾でも日本の漫画や音楽とても有名だったことに驚きました。また北海道はまだ寒いこの時期は台湾は暖かくとても過ごしやすい気温でした。今回の研修はドイツの時とは違い台湾の学生との交流ができよかったです。

その中でも特に印象に残つたものは台湾のちょっと変わった料理とチューターとの交流です。台湾の料理はおいしいものも多かったですが日本ではあまりない香辛料を使った料理も多かったです。そのほかにも臭豆腐という文字通りとても臭い豆腐がいたるところで売っていてとても臭かったことが印象に残っています。また鶏の足を食べたり、丸焼きで頭を食べたりと驚きの食べ物も多かったです。小籠包やチャーハンなど日本でも有名なもの、他にも牛肉麺や魯肉飯という肉のそぼろが乗つたもの、蛋餅というクレープ生地に卵を混ぜ込み中にチーズなどをはさみ焼いたものはとても美味しかったです。チューターの方々には町で毎週水曜日と土曜日に行われる夜市やお祭りにも連れて行ってもらいました。正直行く前は台湾についてあまり知らなく、興味もあまりありませんでした。しかし今回の研修で台湾に行ってみてとても興味が持てました。またチューターの人とも仲良くなり今は会話は英語で少ししか話せなかったのですが今度は中国語で話せるようになりたいと思いました。

人の出会いは一期一会といいますが本当にその通りだと思います。今回知り合うことができた鈴木先生や一緒にいた友達、日本薬科大の人たち、そして台湾でできた友達との出会いを大事にしていきたいと思います。今回の研修で体験したことを今後の自分の人生に少しでも生かせるように頑張っていきたいと思います。

最後に研修のために計画、準備、実行して下さつた先生方ありがとうございました。ぜひ、また機会があれば行ってみたいと思います。

今回の研修における個人的目標とその成果

情報電気エレクトロニクス系 1年 植村 優大

今回の研修における個人目標を次のように設定していた。

- 台湾という国の文化に多く触れる
- 中国語（歴 1 年）スキルを伸ばす

などである。

目標に対する反省として一つ目の目標は『台湾という国の文化に多く触れる』というものであったが「中国医薬大学」もとい台湾の人たちの国民性というべき温かな人柄のおかげで台湾の多くの場所に行くこともでき文化体験も数多くでき自信を持って達成できたと言えると思う。

二つ目の中国語スキルに関しては正直 1 か月行って感じたのはまだまだ 1 か月では足りないという事である。そしてなにより感じたのは意外なことというか案外分かり切っていたことなのかもしれないが英語の大切さである。

英語の大切さは頭では分かっていたつもりだ。しかし少くない期間かけて海外に行って肌でコミュニケーションツールとしての英語大切さを強く感じた。

今後の課題や目標

今後の課題としては中国語のスキルアップは当然のことであるが今回何よりも感じた英語のスキルアップを頑張りたい。

社会に出て英語を使う機会や海外に行く機会もあるだろう。そういった機会でも活躍できるようになればそれだけ可能性の幅を広げることが出来ると思うのでやはり頑張りたい。

最後に今回お世話になった中国医薬大学の先生や友達、一緒に行動した工大生、日本薬科大学の方々、鈴木先生、そして頑張って来いと送り出してくれた家族に感謝を。

本当にありがとうございました。

台湾 中国語語学研修を終えて

機械・社会環境系 1年 奥田 駿

私が今回の研修を終えて、個人的に強く感じたことは、自分の見えている世界の広がりでした。これは決して大袈裟ではなく、本当に、自らの視野が広がったように感じます。

今まで、深くは考えていませんでしたが、私の“海外”という未知の世界に対する認識は、とても遠い場所というイメージのみでした。それは、飛行機で羽田から 2 時間足らずで辿り着くことが出来る台湾でさえ、変わることなくほぼ同じイメージを抱いていました。

もちろん、台湾は日本の隣国で、その中で特に親日国として日本の中でも有名でした。そのため、私も親しみを覚えていましたし、中学生の頃から、「行ってみたい国」だと思っていました。しかし中学、高校と、その良い機会に出会うことはありませんでした。今にして思えば、行きたかったのならそうと決めて、行ってみれば良かったのですが、そのことを決意する決め手を見つけることが出来ませんでした。その、きっかけが得られなかった事と、前述したような海外に対する遠い場所という認識から、台湾に行ってはみたいが行けない、という状況でした。

しかし、一度決意していざ赴いてみると、拍子抜けするほど簡単に台湾という異国についてしまいました。そこは、今まで自分が勝手に遠いと思っていただけで、特に大した障害もなく簡単に行く事が出来る場所でした。その事実は日本の北海道だけで 19 年暮らしてきた私にとって意外と大きな衝撃だったように思います。

もちろん、文化の違いには驚きました。日本では考えられない交通状況、気候、食べ物、宗教、その他文化、中国語。それら全てに戸惑いながら、しかし、一か月近く滞在するうちに自然と順応してしまいました。台湾の暮らしは、日本との文化の違いはあれど、そこに住む人々は少しおおらかなだけで、根本的に違うところはなかったように思いました。むしろ、日本での生活にその大らかさを少し分けて欲しいとすら感じてしまいました。

台湾の人々は親日であるという私の認識は、間違っていないでした。それは、歴史的事実からというよりは、日本の技術協力や旅行客に対する好意ではないかと感じました。観光地では歓迎されましたし、滞在中のお世話をしてくれたチューターの子達は積極的にコミュニケーションをとってくれましたし、日本のカルチャー、アニメ、漫画文化などを知っていて、それらを楽しんでいました。その知識量に、とてもギャップを感じ、驚かされました。彼らのコミュニケーション能力は、英会話などの能力を含めて、日本には無いものを感じました。そしてそれは、日本から出て活動するためには必ず必要な能力だと思います。

研修の後帰国して、私の認識が変わったことは前述した通りですが、さらに、もっと様々な世界を見てみたいと強く思うようになりました。そのためにはコミュニケーション能力、語学力が必須で、そのどちらも現在の自分は不十分だと痛感しました。そのため、これからの生活を精一杯過ごして、それらを高めていこうと思います。

最後になりますが、今回の研修でお世話になった鈴木先生、企画援助していただいた大学、現地の先生や学生、チューターの方々、ホームステイ先のご家庭、日本薬科大学の学生、そして、出資してくれた家族、今回の研修に関わったすべての人に心から感謝します。一か月の間楽しく研修することが出来ました。ありがとうございました。

台湾研修を終えて

情報電気エレクトロニクス系 1年 小竹 祐輝

まず、申し上げたいのは、今回の台湾研修に参加した理由が「台湾に行きたい」というよりも「海外に一度でいいから行ってみたい」という軽薄なものであったということです。なので、台湾に行く前までは、台湾がどういう国なのかは全くイメージが湧かない、観光名所もなにも知らない、そんな状態でした。しかし、日本に帰る日が近づくころになると、「日本に帰りたくない」、帰国した今では、「もう一度台湾に行きたい」と強く思うくらい台湾が好きになっていました。普通の旅行では、こんな風に思うまでにはなれなかったと思います。研修で行ったからこそ、現地の学生との交流もでき、なにより安心して充実した生活を送れたのだと思います。なので、今回の台湾研修に参加でき大変うれしく思っています。

また、今回の台湾研修では、語学をはじめ、台湾の文化や伝統、台湾の現状など多くのことを学ぶことができました。台湾で受けた中国語の授業は、最初は不安もありましたが、現地の先生がとても親切でかつ分かりやすかったのでもちろん勉強になり、特に中級クラスの月曜日担当の先生の授業はまた受けてみたいと思いました。そして、台湾語を聞いていて思ったのは中国語と同じ字でも台湾人は違う発音していることです。これには、とても困惑しました。また、今回がはじめての海外ということもあり、台湾では驚くことが多かったです。車の運転が荒いこと、原付バイクの異常なまでに多いこと、逆に自転車に乗っている人が少ないこと、食事の量が多くかつ安いこと、食事の味付けが甘めなこと、日本語を知っている台湾人が多いこと、日本のアニメや漫画などの文化が広まっていること、北海道を好きな人が多いこと、台湾の街並みがとても綺麗なことなど、様々な驚きとともに台湾のことを少し知ることができた気がします。

さて、1か月という短い期間を台湾で過ごしましたが、正直自分が成長できたかどうかは疑問です。自分の1番の目標であった、「日常会話くらいは中国語で話せるようになる」というものも達成できなく、現地の学生とは英語でもうまく話せなかったなど、反省点だらけの1か月でした。ただ、今はこの悔しさを糧にして中国語、そして英語の勉強をしようと思っています。加えて、今回の1か月はやる気を与えてくれただけでなく、中国医薬大学の学生をはじめとする、多くの人に出会う機会を与えてくれました。これが、1か月楽しく過ごせた一番の理由だと思っています。それを踏まえ、今回の研修を実現させてくれた北見工業大学、中国医薬大学、双方の方々にはお礼申し上げたい。そして、今回出会ったすべての人に感謝しています。また、鈴木先生には大変お世話になりました。ありがとうございました。

台湾研修を終えて

機械・社会環境系 1年 柳原 周斗

この台湾研修は私にとって 2 回目の海外旅行でした。初めの台湾のイメージは「中国語を使う国」、「島国」、「元は中国と一つだった。」という抽象的なものでしかありませんでした。

ほとんど何の知識も持たずに台湾に行ったのですが...、とにかく寺院が多いです。行く先々に寺院があり、さらにどれも大きく、派手であり、「そんなに神を祭るのが好きなのか。」と思ってしまうほどでした。古風で、質素な日本の寺院とは大違いです。

台湾のスクーターの多さにはびっくりです。札幌大通りの自転車が全てスクーターに置き換えたようにびっしり駐輪されていたのです。また、日本ではスクーターを絶対乗らないという道の幅でもスクーターを乗って走ってくるのにも驚きです。「どれだけスクーターに乗りたいたのだろうか...。」と思ってしまうほどでした。

ホームステイは何が一番驚いたかってそれは言うまでもなく家の広さです。ホームステイ先の張維志くんのお宅はなんと 5 階建てでエレベーター付き、家の門とシャッターは自動で遠隔操作可能、さらに家の中は大理石というのだから、マジびっくりです。ホテル級というか、ホテル越えのクオリティでした。貸していただいたお部屋がこれまたビッグサイズのダブルベッド。「一人でこんなに使っていいのでしょうか。」と思うほどでした。

夜市はどこにいったのか記憶しておりませんが、たくさん行ってきました。夜市には食べ物はもちろんのこと、アクセサリ、服、バッグなどの出店が並んでいました。その店はバッグを売っているならバッグだけと、日本にはない専門的な店ばかりでした。

台湾の学生との交流は私にとって楽しいものでした。日本のアニメはやはり素晴らしいものです。なんせ、普通に日本のアニメの話が通じたし、なにより国境を越えることが可能なことに驚きでした。日本ではヲタクをさげすんだりしていますが、今ではアニメは世界に通じるものがあるのだと感動いたしました。

中国医薬大学の学生は放課後にバスケットボールやバレーボールをしていて、とても活発的な子が多いと見受けられました。日本の学生よりも活発的だと思いました。

寮で WBC 日本 VS 台湾を観戦した時は超盛り上がっていました。私は台湾で WBC 日本 VS 台湾の試合を観戦するなんて夢にも思っていませんでした。迎えの女子寮、それ 4 階以下の階の応援は台湾の学生であったため台湾チームが打つと大きな歓声が上がっていました。日本が勝った時の寮の静けさは忘れません。

中国医薬大学の本部はものすごい大きさでした。私は大学よりも大学の附属病院の規模にとっても驚きました。一階にスタバがあること、地下にセブンイレブン、漢方治療を行う診察室のあの病院とは思えないゴージャス感などなど、ホテルのような病院でした。

ホント私にとって刺激的な一か月間でありました。今度行くときはちゃんと中国語を話せるようこれからも努力したいです。

印象に残ったことと思ったこと

電気電子工学科 2年 加藤 万誉

今回、台湾研修に参加して印象に残ったことは、台湾は日本に似ている部分が多いという事でした。街の至る所に日本語の看板があったり、日本語の曲が流れていたりしました。車も日本車が多く、トヨタや日産などのメーカーの車がたくさん道路を走っているのを見て日本にいるような錯覚を感じることもありました。もちろん、台湾独自の文化もたくさんあり、研修旅行などの行事で色々な事を知れて楽しかったです（朝起きれなくて何回かバツれてしまったが）。何ととっても、台湾の人の自由さが僕にはぴったりでとても好きでした。

また、台湾の人は全体的に日本人をととても歓迎している雰囲気を感じました。台湾は親日国だというのはなんとなく知っていましたが、ここまで親日的だったとは思っていませんでしたので、少し驚いたのと同時にうれしい気持ちになりました。北港の人もととても親切な人が多く、またフレンドリーですぐに仲良くなり、食事に連れて行ってもらうなどとてもお世話になりました。また台湾に来たくなるような出来事が多かったです。

しかし、言葉の壁は大きく、相手が何を言っているのか理解できなかつたり、逆にこっちが何を言っているのか相手が理解できなかつたりと、意思の疎通にととても苦労しました。もっと英語の勉強をしておくべきだったといつもの4人で何回も後悔していました。

そんなこんなで台湾人の知り合いができたことはとてもうれしい事でしたが、日本人の知り合いができたのもうれしかったです。人脈を広げる事は楽しく生きていく上で最も大事なことの1つだと思っているので、このような事をこれからもどんどん続けていきたいと思いました。

個人的には父に久しぶりに再会できて良かったです。台北でのフリータイムは特にやることを決めていなかったなので、共に色々と行動し、通訳などもしてもらい非常に助かりました。台湾の祖母とも久しぶりに再会し、とても懐かしい気分になりました。しかしここでも僕は中国語が話せない、台湾の祖母は日本語が話せない、という状態だったので孫と直接会話できずに祖母は少し寂しそうでした。

全体を通して、やはり言葉が喋れないと文字通り話にならないと痛感させられました。なので、これからしっかりと語学を勉強して自分の為にも相手の為にも行き先でしっかりとコミュニケーションが取れるようにしなくては、と思います。

恋文

マテリアル工学科 2年 間宮 大介

恋をしました。それは1ヶ月の儚い夢物語だったのか、それとも永遠に続くものなのか、今はまだ気持ちの整理がつきません。

出会いは衝撃的な出会いでした。私の一目惚れで、周りの世界が何倍、いや何十倍何百倍に輝きだしました。一緒にいるととても楽しくて、いつも笑顔にさせてくれる素晴らしい存在です。言葉の違いや、国の違いなど関係なく、ただそばにいてくれるだけで安心しました。英語、日本語、覚えたての中国語を駆使しながら、頑張ってこの気持ちを伝えようとしても、うまく伝わっているかなと思う時が度々ありましたが、雰囲気伝わればOKということにしておきましょう。

今この旅を振り返り、1ヶ月という短い研修期間のなかでたくさんの思い出ができました。たくさんの出来事がありすぎて、あまり憶えていないのも事実です。しかし頭では憶えていなくても、心では憶えているものです。今でも、思い出す度に胸がキュンとしてしまいます。

話は遡り、日本からの出発の日、こんなにも素晴らしい出会いが待ち受けているとは夢にも思わず、私は飛行機の中で眠りについていました。思い返してみれば、もうこの時点で出会うことが確定していたのだなと思うと、今でも鳥肌が立ちます。そして到着し、日本との違いを肌で感じました。

まずは匂いの違いを感じました。これは他の国にも当てはまることですが、国々によって匂いは違います。次に人の温かさを感じました。先生や生徒の親切さや、思いやりの心が伝わってきて、とても嬉しかったです。そして最も印象に残ったのが料理の違いでした。まるごと料理してある鳥や、豚の血のケーキなど、とても独創的なものばかりでした。食べた時の感想は、言葉に詰まるものばかりでした。

週末には研修旅行として色々な所へ行きました。阿里山や台北、台中、台南と、主要な都市へはすべて行ったと思います。1ヶ月間忙しく動き回り、思えば休暇という休暇は無かったと思います。しかし疲れはしましたが、それ以上に楽しみのほうが勝っています。

話は変わり、愛とは何かを考える時間がこの研修旅行では長かったように私は思います。愛とは恋なのか、それともこの2つは全く違ったものなのか。結論は出ませんでした。ただ考えた時間は無駄ではありませんでした。このおかげで研修旅行がとても楽しくなったのは言うまでもないのですから。

出会いがあり、そして別れがあり、この1ヶ月の研修は終わりを告げました。私の恋は儚くもここで終わってしまうのでしょうか。いいえ、終わりません。中国語を覚えてまた私からむかえに行きます。その時も今回と同じように、優しい心で待っていてくれるでしょう。そして、私をその優しさで包んでくれるでしょう、台湾は。

そう、私は台湾に恋をしました。

1 か月台湾文化に触れて

マテリアル工学科 3年 角地 優子

約1か月、日本ではなく国外の、台湾で過ごせたことで有意義な春休みを送ることが出来ました。初めて、滞在先の大学に行ったときに、先生方も英語ではなく中国語でしか通じる方がいなかったの、驚いたのと同時に言うてくださっていることを理解するのに、必死でした。ジェスチャーとか指さして、説明して下さったのですが、なんとなくでしか理解ができず、申し訳ないくらいでした。

しかし、チューターの学生やほかの学生の子もとても親切で、たくさん助けてくれました。また、台湾に着いて1週間もたらずに、ホームステイだったので、不安も多かったのですが、ホームステイ先のご家族もとてもいい方たちで、楽しく過ごせました。私のホームステイ先は高雄市で都市の大きさに驚きました。また、高雄市の大きなショッピングモール内に東京の方のお店や、阪急百貨店、ダイソー、北海道物産展、アニメショップなど、日本のものが思っていたよりもあふれていたの、驚きました。日本では、あまり台湾のものを知らないのに、台湾の方は、日本のものが身近にあることに、驚きます。ホームステイの4日間ほどで、ショッピングモール、台湾のお寺、動物園、旗津、愛河、市場、蓮池潭風景區、美濃、夜市といろいろなところに連れて行ってもらい、毎日疲れましたが、楽しかったです。また、ホームステイ先の学生のお祖母さんが、昔日本人の家庭にお手伝いに行っておられてみたいで、とても私に会うのを楽しみにしておられたようで、お会いできたとき、とてもうれしかったです。

ホームステイを終えて、北港に戻ってからも、課外活動でお寺に行ったり、中国医薬の授業を受けたり、塗り薬を作ったり、台中市、阿里山、台南市、台湾のお菓子を作ったり、伝統の人形劇『布袋戯』を見たり、泊りがけで南投縣の方に行き、台湾大学の管轄する公園に行ったり、観光地の日月潭や微熱山丘など、様々なところに連れて行っていただきました。毎日ハードでしたが、たくさんところで色々な台湾の方々と触れ合うことが出来て、とても新鮮でした。

中国語の方は、日常会話はできませんが、以前よりは単語を言ったり、ピンインを読んで発音できるようになったと思います。中国語は、難しいです。発音もアクセントも日本語や英語と異なるものも多いので、慣れるのに大変です。しかし、授業で受けて習得すると、その文化に触れて習得していくのとは、感じ方がまた違いました。その文化に触れて、実感がわいてくるので、日本に戻った後も頑張って中国語の勉強を頑張ろうと思えました。

台湾最後の4日間ほどは、台北で過ごしました。行きたいところを、北港にいるときに、台北出身の学生に聞き、行き方を教えてもらい、行くことが出来ました。西門、基隆、九份、中正紀念堂、故宮博物館、台北101、士林夜市に行くことが出来ました。ただ、台北の方では、日本人観光客も多く訪れるため、日本語が使える場所も多く、私が英語で場所を

聞いたのに日本語で返答されることがあったのは、少し残念な感じがしました。英語がお店であまり使えない北港は、買い物などは大変でしたが、語学研修にはとてもいい環境だったと感じました。

台湾に行って思ったことがあります。台湾は、みんながとても自由に、素のままで生活しているように感じました。交通ルールとかは、驚くことがたくさんありましたが、それはそれで新鮮でした。日本は、生活をするのに、固く感じました。日本にしか、住んだことがないからかもしれませんが、そのように感じました。高校の修学旅行で、マレーシアに行ったときは、日本の方がいいとばかり感じていましたが、海外で暮らすのもいい経験だなと感じました。台湾に留学したくなりました。また、台湾で生活したいです。

この語学研修で様々な体験をさせていただきました。中国医薬大学の先生方、課外活動の先生方、そして引率していただいた鈴木先生には大変お世話になりました。この1カ月はとても充実したものとなりました。また、異文化にたくさん触れることが出来ました。ありがとうございました。これを機に、中国語をさらに勉強して、また台湾に行き、向こうの友達と会いたいと思います。

引率を終えて

国際交流センター特任講師 鈴木 衛

この度、台湾への中国語語学研修の引率を担当いたしました鈴木でございます。台湾での研修は、2010年度以来二回目の実施となりましたが、今回は初めて本学の国際交流協定締結大学であります中国医薬大学（台中・平成20年12月締結）北港キャンパスにて一ヶ月の研修を実施いたしました。実施までの経緯について簡単に申し上げますと、2012年1月27日から2月5日まで、先方大学が短期交流研修を本学で実施し、その際に教員同士において今後学生交流を更に活発に推進していこうという認識で一致いたしました。その後、同年2月16日に私自ら第一回目の視察を行い、研修環境の良さを直接確かめることができました。春以降も連絡を密に取り、ようやくプログラムが完成するに至りました。

今回の研修の大きな特徴は、先方大学の学期中に実施したこともあり、普段から台湾の学生達と交流する場が多くあったことです。また、学費や寮費、研修旅行に至るまで、大部分を先方大学が負担してくれたこともあり、経済的にも軽負担で済んだ点もこれまでの研修とは異なる点でありました。他にも、北港キャンパスから2～3時間の範囲内に多くの研修先があったため、短時間で移動がしやすく、且つゆっくりと時間をかけて研修を実施することもできました。常に中国医薬大学北港キャンパス辜玉茹主任（キャンパス長）はじめ、多くの教職員の方々が交代で研修に同行してくれたこともあり、順調に研修を実施することができました。

学生達の研修中の様子については、彼らの報告書からも読み取れる通り、日々疲れを知らないほど、非常に積極的に多くのことに取り組んでおりました。その要因の一つには、3名の台湾人学生が1名の日本人学生にチューターとして付いてくれたことが挙げられます。朝食を共にとることから始まり、寮の門限である23時近くまで互いに交流を行い、帰寮後も、FacebookやLINEで連絡を取り合うなど、多くの時間を共有しておりました。中国語学習歴は学生により異なったため、中国語を介しての意思疎通がスムーズにできなかった学生も中にはいたようですが、それはそれなりに英語を用いてコミュニケーションをとるなど、一生懸命頑張っている姿を至る所で見かけました。出国前の本学における事前研修では知りえなかった彼らの素晴らしい一面を日々発見することができ、非常にうれしい気持ちになりました。

このように、一ヶ月という研修期間はあっという間に過ぎ、帰国を前に皆が日本に帰りたくないと言っていたことを今でも記憶しております。その言葉通り、本研修は、彼らにとって非常に有意義であったのだと実感することができました。また、現地において多くの友人をつくれたことも、彼らの財産の一つになったのではないのでしょうか。この貴重な縁を大切に、今後も友情を深めてもらいたいと思っております。そして、様々な活動を通し、日台友好の懸け橋になってくれれば幸いです。

最後に、本学の学生を受け入れてくださいました中国医薬大学北港キャンパス辜玉茹主任はじめ全ての教職員の方々には、本研修の受入れから研修中のきめ細かい対応まで、親切に対応していただき、本当にありがとうございました。非常に気持ちよく研修を送ることができました。感謝申し上げます。また、保護者の皆様におかれましては、学生を本研修に参加させていただきましたことに対し、お礼を申し上げます。学生時代の経験は、必ずやどこかで役立つものです。長い目でみていただければと思います。さらには、本学の後援会であります「KITげんき会」より今回も学生に対し、参加旅費の助成をしていただきました。ありがとうございました。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。多くの方々に感謝申し上げ、以上、2012年度台湾語学研修の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

付録 1 「研修募集資料」

資料】

H)

交通費
D費用

7. 研修先大学負担：①寮費（含 光熱費・インターネット） ②授業料 ③研修旅行費

8. 助成金制度：KITげんき会から3万円の助成金あり
（返却不要・申請人数が多い場合は変更も有り得る）

9. 日程表：別紙参照

10. 特色：①中国語を習得できる。
②台湾人学生と一緒に英語・体育・書道などの授業も受講できる。
③学生間交流ができる。
④台湾の文化や風習を知ることができる。
⑤日本を見つめ直し、相手に伝えることができる。
⑥チューターがつくことにより、安心して生活できる。
⑦課外活動（二胡・太鼓・ギター・太極拳）に参加することもできる。
⑧学内の施設（図書館・カラオケルーム・ジム・スポーツルーム）を利用することができる。
⑨格安で一ヶ月プチ留学を体験できる。
⑩病院が隣接しているため、万一の対応が即座にできる。

11. 募集期間：2012年10月 1日（月）～10月31日（水）

12. 支払い期間：申請時に支払い（12万円）

13. 事前研修：11月から週一回事前研修（簡単な会話）を実施予定
（参加者には別途連絡）

14. 問合せ先：国際交流センター 鈴木講師（国際交流センター教員室）
メール：suzuki-m@mail.kitami-it.ac.jp
電話：0157-26-9378
対応時間：月・水・金 16:20～17:50 以外（講義のため）

15. 備考：キャンパス風景



付錄 2 「研修日程表」

中國醫藥大學北港分部國際學生短期研習流程時間表						
日期	時間	活動名稱	活動地點	課程老師	活動承辦人	備註
2/22 (五)		出国				台北泊
2/23 (六)	13:10-13:30	接待日本學生 (北見大學)	太保高鐵站		辜玉茹主任	
	14:00-17:00	入住北港分部宿舍	北港分部宿舍		辜玉茹主任	
	17:00-19:30	晚餐			辜玉茹主任	
2/24 (日)	09:00-09:30	說明會	綜合教室		辜玉茹主任	
	09:30-12:00	梅問屋梅子觀光工廠	梅山鄉	導覽人員	郭幸蕙組長 吳美真小姐	
	12:00-13:30	午餐	古坑鄉			
	13:30-15:30	華山步道	古坑鄉			
	15:30-16:30	回程	北港鎮			
	16:30-17:30	北港老街元宵悠遊趣	北港鎮			
	17:30-17:50	返校	北港分部穿堂			
2/25 (一)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	華語老師	許桂鳳小姐	
	12:20-13:30	午餐	北港分部學生餐廳			
	13:30-17:00	文化課程體驗: 燈籠製作	藝文教室	吳登興老師	吳美真小姐	
2/26 (二)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	華語老師	許桂鳳小姐	
	12:20-13:30	午餐(接待家庭說明會)	藝文教室			
	13:30-17:00	糖廠巡禮	嘉義縣蒜頭村	導覽人員	吳美真小姐	
2/27 (三)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	華語老師	許桂鳳小姐	
	12:20-13:30	午餐	北港分部學生餐廳			
	13:30-15:15	國畫教學	師生交流中心	程錫牙老師	許桂鳳小姐	
	15:15-17:10	體育課	綜合球場	黃世洲老師	許桂鳳小姐	

2/28 (四)	All Day	home stay			學生	
3/1 (五)	All Day	home stay			學生	
3/2 (六)	All Day	home stay			學生	
3/3 (日)	All Day	home stay			學生	
3/4 (一)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	洪春音老師 王澤儀老師	許桂鳳小姐	
	12:20-13:30	午餐	北港分部學生餐廳			
	13:30-17:00	宗教文化之旅	佛光山佛陀紀念館	導覽人員	楊賢惠小姐 王健峰老師	
3/5 (二)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	林佳燕老師 劉志宏老師	許桂鳳小姐	
	12:20-13:30	午餐	北港分部學生餐廳			
	13:30-15:15	養生藥膳教學	藝文教室	楊淑媚老師	許桂鳳小姐	
3/6 (三)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	蔡麗珠老師 洪春音老師	許桂鳳小姐	
	12:20-13:30	午餐	北港分部學生餐廳			
	13:30-15:15	國畫教學	師生交流中心	程錫牙老師	許桂鳳小姐	
	15:15-17:10	體育課	綜合球場	黃世洲老師	許桂鳳小姐	
3/7 (四)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	蔡麗珠老師 林佳燕老師	許桂鳳小姐	
	12:20-13:30	午餐	北港分部學生餐廳			
	13:30-15:15	紫雲膏製作	化學實驗室	張文德老師	楊秀芬小姐	
	15:15-17:10	英文課程	藝文教室	林慧洙老師	許桂鳳小姐	
3/8 (五)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	陳慧芬老師 蔡麗珠老師	許桂鳳小姐	
	12:30-17:00	參訪校本部	台中校本部	辜玉茹主任	許桂鳳小姐	車上用餐

3/9 (六)	全日	阿里山之旅	阿里山		郭幸蕙組長 黃素貞小姐	1.7 點穿堂集合 2.三餐自理 3.門票費用 100 元(自理)
3/10 (日)	全日	台南古蹟巡禮	台南縣市		吳美真小姐 李韻琦小姐	1.8 點穿堂集合 2.三餐、門票自理
3/11 (一)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	黃春音老師 王澤儀老師	許桂鳳小姐	
	12:20-13:30	午餐	北港分部學生餐廳			
	13:30-16:30	保健穴道按摩教學	藝文教室	吳俊昌老師	許桂鳳小姐	
3/12 (二)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	林佳燕老師 劉志宏老師	許桂鳳小姐	
	12:20-13:30	午餐	北港分部學生餐廳			
	13:30-17:10	文化課程體驗: 地方美食製作	北港鎮日興堂	導覽人員	吳美真小姐	
3/13 (三)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	蔡麗珠老師 洪春音老師	許桂鳳小姐	
	12:20-13:30	午餐	北港分部學生餐廳			
	13:30-15:15	國畫教學	師生交流中心	程錫牙老師	許桂鳳小姐	
	15:15-17:10	體育課	綜合球場	黃世洲老師	許桂鳳小姐	
3/14 (四)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	蔡麗珠老師 林佳燕老師	許桂鳳小姐	
	12:20-13:30	午餐	北港分部學生餐廳			
	13:30-17:10	英文課程(分 2 組)	藝文教室	林慧洙老師	許桂鳳小姐	
	17:10-18:00	晚餐	北港分部學生餐廳			
	18:00-20:00	傳統文化體驗-布袋戲	綜合教室	黃世志老師	吳美真小姐	
3/15 (五)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	陳慧芬老師 蔡麗珠老師	許桂鳳小姐	
	12:30-17:10	文化課程體驗:	南投縣鹿谷鄉		吳美真小姐	車上用餐

		手工製茶			羅泗洪先生	
	17:10--	鹿鼎莊(夜宿)	南投縣		吳美真小姐 羅泗洪先生	食宿自費
3/16 (六)	全日	溪頭之旅 八張民宿(夜宿)	南投縣		吳美真小姐 羅泗洪先生	食宿自費
3/17 (日)	全日	日月潭、微熱山丘之旅	南投縣		吳美真小姐 羅泗洪先生	食宿自費
3/18 (一)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	蔡麗珠老師 洪春音老師	許桂鳳小姐	
	12:20-13:30	午餐	北港分部學生餐廳			
	13:30-17:10	農村體驗: 傳統美食製作 (紅龜粿)	北港好收社區		吳美真小姐 羅泗洪先生	
3/19 (二)	08:40-12:20	中國語研習	初級(藝文教室)中級(English Corner)	林佳燕老師 劉志宏老師	許桂鳳小姐	
	12:20-13:30	午餐	北港分部學生餐廳			
	13:30--	北見工業大學修業式				
	16:09	嘉義/台北	台北市			台北泊
3/20 (三)		自由行動	台北市			台北泊
3/21 (四)		自由行動	台北市			台北泊
3/22 (五)		歸國				
備註:這次活動流程將依實際運作略作調整,若有異動已公告為主						
連絡人方式:楊賢惠組長 0921-306252;吳美真小姐 0920-383581						

付録3 「実際の諸経費」

項目	金額	備考
(1)航空券(国内・国際線)	48,820 円～61,190 円	帰国時の空港により異なる
(2)海外保険	19,020 円～24,950 円	加入プランにより異なる
(3)台北宿泊(4泊)	20,767 円	3.33にて計算
(4)台湾国内新幹線	8,200 円	3.33にて計算
(5)教材費	1,955 円～2,011 円 (初級 587 円／中級 604 円)	クラスにより異なる
(6)梅干しづくり体験	333 円 (100 円)	3.33にて計算
(7)阿里山入場料	666 円 (200 円)	3.33にて計算
(8)台南研修旅行入場料	167 円 (50 円)	3.33にて計算
(9)研修旅行宿泊費	3,000 円 (900 円／500 円＋400 円)	3.33にて計算
(10)溪頭風景区入場料	500 円 (150 円)	3.33にて計算
(11)お小遣い	50,000 円～70,000 円	ホームステイ時の移動費も含む
(12)KITげんき会旅費助成金	30,000 円	受領額 (学生の口座に入金済)
合計	123,428 円～ 161,784 円	

※パスポート取得費は含まない。

付録4 「研修の様子（写真）」

【写真1 布袋戲】



【写真2 修了式】





KITAMI
Institute of Technology

北見工業大学国際交流センター ©2013
〒090 - 8507 北見市公園町 165 番地
TEL: 0157-26-9370
E-mail: kenkyu05@desk.kitami-it.ac.jp